

○ もっとも「よい」と考える流れを考え、次の四つの文章を並べ替えよう。また、次のページに理由を書こう。

既に従約を定めて趙に帰るや、肅侯封じて武安君と為す。

蘇秦なる者は、鬼谷先生を師とす。初め出游し、困しみて帰る。妻は機を下らず、嫂は為に炊がず。

秦人諸侯を恐喝して、地を割かんことを求む。洛陽の人蘇秦なるもの有り。秦の恵王に游説して用ひられず。乃ち往きて燕の文侯に説き、趙と従親せしむ。燕之に資して以つて趙に至らしむ。肅侯に説きて曰はく、「諸侯の卒は、秦に十倍す。力を并せて西に向かはば、秦必ず破れん。大王の為に計るに、六国従親して以つて秦を擯くるに若くは莫し」と。肅侯乃ち之に資して以つて諸侯に約せしむ。蘇秦鄙諺を以つて諸侯に説きて曰はく、「寧ろ鶏口と為るも牛後と為る無かれ」と。是に於いて六国従合す。

是に至りて従約の長と為り、六国に并せ相たり。行きて洛陽を過ぐ。車騎輜重、王者に擬す。昆弟妻嫂、目を側めて、敢へて視ず。俯伏し、侍して食を取る。蘇秦笑ひて曰はく、「何ぞ前には倨りて後には恭しきや」と。嫂曰はく、「季子の位高く金多きを見ればなり。」と。秦喟然として歎じて曰はく、「此れ一人の身なり。富貴なれば則ち親戚も之を畏懼し、貧賤なれば則ち之を輕易す。況んや衆人をや。我をして洛陽負郭の田二頃有らしめば、豈に能く六国の相印を佩びんや」と。是に於いて、千金を散じて以つて宗族朋友に賜ふ。

○前のページのように並べ替えた理由を書こう。

※理由として書くべきポイント例

語の使い方、句法などの文法的な要素、
文章内容のつながり、読者への伝わり方の違い
など

※前のページの本文について、ポイントとなるところの
文字色を変えたり、線を引いたりしてもかまいません。

(理由)